

INFO@g.shunan.ed.jp

周南市教育研究センターHP



10月活動状況

＜校種別＞ 107件
 小学校73、中学校21、
 その他13

10月利用校種



■小学校 ■中学校 ■その他

＜内容別＞ 118件
 ○電話等による問い合わせ等（管理簿等） 57
 ○設定支援
 iPad初期化、モビコネク
 ト操作、著作権について、
 デジタル教科書アカウント
 設定他 20
 ○訪問、その他
 iPad・Win 機交換、バー

コード実証実験等 26
 ○研修他
 T-Net研修補助、特別研
 修等 15

10月内容



■問い合わせ ■設定支援 ■研修、その他 ■校内ICT研修

管理簿と原簿の一致を

7/14提出の情報端末管理簿（「管理簿」）の追々調査が依然続いています。これまで、3月、6月と、3ヶ月を目安に各校の自主点検をお願いし、そして次は9月を予定していたものの、想定以上の追調査、追々調査に時間がかかっています。

2022/3月末に市から各校に示された端末とアカウントが紐付けされた「原簿」と、提出された「管理簿」とのずれが生じていることが主な原因です。

さて、今回の「管理簿」の整理を受け、市の「原簿」と各校の現状を反映した「原簿」（A3版）との一致を確認する必要があります。

このため、12月当初を期限に、各校の「端末とアカウントの紐付け」を提出いただくようになります。

太陽とかげ

快晴に恵まれ、小学3年生が校庭で太陽とかげ（影）の観察を行いました。

小学3年生では、太陽は「東から昇り西に沈み、かげは光源の反対にできること」を学びます。

中学校では、季節ごとの太陽の動き、南中高度、黒点の動きから「球」であることを中学3年生で

学びます。

以前は、中学1年生で扱っていましたが、「生徒の空間的理解能力が未発達である」ことが指摘され、理科、数学の空間的処理に関する単元は上の学年に移されました。

以前から、見えないものや空間的なものこそ、ICT利用と言われています。

＜黒点を調べる＞

雑誌の付録の天体望遠鏡を太陽に向け、2枚の写真を撮りました。



望遠鏡の影（各写真の上部赤矢印）が長いのは、望遠鏡が太陽に向かっていないのです。

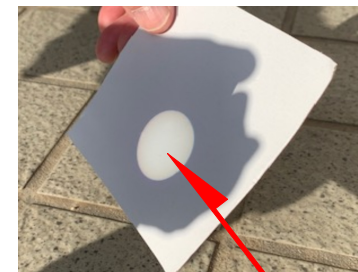


「望遠鏡で太陽を見てはいけない」（知識）の

ですから、見ないで太陽に向けるには「影の長さが最小となるようにします。」（技能）

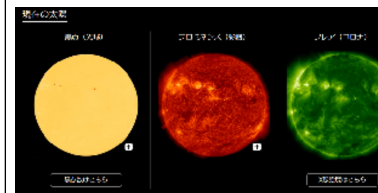
知識と技能の絶好の育成場面です。付録でするので簡単です。

次に白い紙を望遠鏡のレンズに近づけます。



矢印の○は太陽で、移動も観察できます。これをiPadで撮り、拡大すれば黒点が分かります。

次に「宇宙天気予報（NICT）」（右のQRコード）でネット検索します。すると現在の黒点の様子が示されており、理解が深まります。



周南市教育委員会
 周南市教育研究センター
 ICT教育推進室
 ICT教育アドバイザー

知っておきたいICT

＜GoogleClassroom＞

Google Classroomのクラスに教師は20人入ることができましたが、



Classroom

9月下旬の仕様変更で、50人入ることができるようになっています。

大規模校で「研修クラス」を作成して「研修」することは可能ですが、「校務」としての文書等のやりとりをしないようにしてください。

本市は、学習はGoogle、iPad。校務処理はTeams、校務PC（教材作成他を含む）の使い分けをしています。

2022/10/21、富山市の中学校での成績共有事故の未然防止です。